

「100年も先のことは、わからない」
なんて言うのはやめよう。
そう決めました。



サントリー
天然水の森
PROJECT.

サントリーの天然水は、森に降った雨が、
およそ20年かけて
森の大地でゆっくり滲過され、
ミネラル分を授かって
おいしくなった地下水。
健やかな森の力を借りて生まれます。
天然水を未来につなぐために、
森を元氣にする。
それが私たちの大切な仕事になりました。
これからも、ずっとずっと
水と生きていけますように。



サントリー「天然水の森」は
16都府県26万所、総面積約12,000ha。
これは、国内工場で汲み上げる地下水量の
2倍以上の水を育む広さです。
(2024年10月現在)

水と生きる SUNTORY

天然水の森

検索

白銀の世界へ 飛びだそう！

アクティビティと宿泊がセットで楽しめる
冬だけの限定プラン！

とことん雪遊びプラン

好評販売中



スノースライダー



ナイトハイク

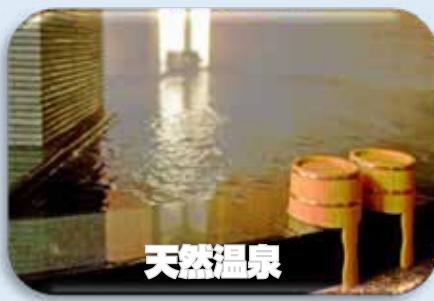


雪の森の散歩

合掌集落から車で15分！森のホテルで過ごす特別なひと時



フレンチディナー



天然温泉



開放的な客室



TOYOTA Shirakawa-Go Eco-Institute
トヨタ白川郷自然学校

ご予約
お問合せは
こちら

トヨタ白川郷
Tel : 05769-6-1187
(9:00~18:00)

検索





／子どもからおとなまで！／

365日 いつでも どこでも だれでも 自然体験



NPO法人国際自然大学校



こどもキャンプ

八ヶ岳チャレンジスキー

- (1)1/5(月)～7(水)
(2)1/10(土)～12(月)
小学生対象のスキーキャンプ



いついつキャンプ冬

- (1)12/26(金)～28(日)
(2)12/28(日)～31(水)
小中学生対象の宿泊キャンプ

のあそびくらぶ

- 12/27(土),28(日),29(月),30(火)
満3歳～小学2年生対象の日帰りキャンプ



こどもキャンプ詳細はWEBで▶



大人の自然体験

企業・会社・団体グループなどの人事担当者のみなさま！
こんなご要望・お悩みございませんか！？

もっと成長が実感できる社員研修ってないかな？

社員のまとまりがないな…
チームワークってどうやったら強化できるの！？



ほかの会社や例年とは一味違った福利厚生
ってどんなのがあるんだろう…

ぜひNOTSで

キャンプ (自然体験)



をしてみませんか！？

キャンプでなにが解決するんだ！？と思った方！
ぜひまずはHPをご確認下さい！

おとの自然体験詳細はWEBで▶



質問・問合せは
LINEでお気軽に！



NPO法人国際自然大学校

National Outfitter Training School

NOTS

〒201-0004 東京都狛江市岩戸北4-17-11

☎03-3489-6320

暮らしに寄り添う アップサイクルを。

とても良い品質なのに生産の制約が多く、

いずれ廃棄されてしまう「残糸」。

そんな資源を生まれ変わらせるために、老舗メーカーの技術と経験を使って「Re:Rug(リラグ)」が誕生しました。

表面のパイルすべてに残糸を使っています。

日本製



洗える



選べる
全4柄



超軽量



「残糸」とは？

「あと少しで使い切った」、ラグを織る機械に残った短い糸。

「デザインのアクセントに使った、不揃いのカラフルな糸」。

「もう使われる予定のない、けれど上質な糸」の事です。



未来を変えるかもしれない選択を、 あなたの暮らしに。

「SUMINOE 残糸再生プロジェクト」は、部署の垣根を越えて会議を重ねて、商品化に至りました。今後も、残糸の削減に取り組み、快適な商品を提供できるよう継続いたします。

「Re:Rug (リラグ)」は公式オンラインショップにて販売しております。

売上の一部を JEEF に寄付し応援させていただきます。

cucan 「あなたの好きが、家族の笑顔になる」

インテリア ショップ クーカン 株式会社スミノエ インテリアプロダクト



公式ショップ



instagram

編集後記

文字数の関係で本編には乗り切らなかったエピソードや執筆者とのやり取りで印象的だったことなど、地球のこども編集チームが制作の裏側をちょっとだけ紹介します。

日々ニュースから流れてくる世界情勢は、ネガティブなものが多くなっています。そして、社会が不安定になると、人々の心から自然環境のことが離れてしまいがちになります。自然と共にあるという感覚を強く感じられる手仕事。それを生業とする人たちの言葉から、自分の手で暮らしを紡いでいくという原初的な感性に触れてみたいと考え、今回の特集を組みました。新連載第1回目の藁を編む体験もそうですが、屋内であっても手から伝わる自然を味わうような時間を、今後プログラムにも取り入れてみたいところです。

鴨川 光



紡ぐ、織る、編む、染める。今回は、そんな手仕事の魅力と意義を同時に感じる特集でしたね。素材の質感、自然と人が繋がる時間のゆたかさ。読みながら、触れてみたい、やってみたい、と感じてくださった方も多いのではないでしょうか。私もその一人です。

日常の衣類や道具は、完成品を購入することが当たり前となっています。ですが、私たちの暮らしは本来、自然から素材を頂き、人の手で形を変え、暮らしに役立てる、その積み重ねであることを思い返しました。自然と人の手による営みが、日々の暮らしの原点であること、心の中に留めておきたいと感じます。

木村 佳葉



私は昔、流行っている・安いという理由だけで洋服を買っていました。当然愛着もわからず、数回しか着ない服もありました。そんな中、バングラデシュのラナ・プラザ事件を知り、ファストファッションの裏側にある現実を知りました。また、ケニアで実際に目にした、「服の墓場」と呼ばれるゴミ山には、先進国から集まつた多くの古着があり、その光景や臭いはこの先も決して忘れることはないでしょう。今回の特集で、自然の恵みと人の手が合わさって生まれる、手仕事の素晴らしさを再認識し、より一層日々消費している「モノ」への意識が変わりました。

原田 真梨子



地球の子どものバックナンバーを WEB でご覧いただけます。
<https://www.ieef.or.jp/child/>

12月は寄付月間!改めてJEEFを支えてくださる皆さまの存在をひしひし実感しています。同時に、環境教育の大切さを、どうしたらより多くの方に知って頂けるかを日々考えています。そのために必要なことの1つ、環境教育の効果測定は、長年の課題です。今号の環境教育人・徳田さんが挑むのは、「理論と実践の融合」。環境教育の研究者と実践者は、目指すゴール（プログラムの効果を測定する）は同じでも求めるプロセス（じっくり学術的意義を考えたい研究者とすぐ次に活かしたい実践者）が異なるという話が私にとっては目からうろこでした。研究の今後に期待大!です。

垂水 恵美子



肌寒いこの時期だからこそ、「手」でつくりあげていく行為のぬくもりを感じる特集でした。わたしも美術を専門にしてきた者として、アタマも身体も使って素材を知り、親しみ、大切に思うようになる、そんな手仕事の過程には共感するものがありました。なんだか記事と向き合う時間の流れでさえ、ゆったりと感じられたような…。

「生きもの沼へようこそ！」では臨場感たっぷりにオケラとの出会いが描かれています。ビロウドのような毛があるなんて！春になったら田んぼに行って、ぜひ手触りを確かめてみたいです。

東村 ほのか



今回、新連載である「誰ひとり取り残さない環境教育を目指して」を担当させていただきました。取材を通して最も心に残ったのは、「教える」ではなく「見守る」から学びが生まれるという視点でした。わら細工に没頭する子どもたちの姿から、知識よりもまず安心できる場所と、自分のペースで挑戦できる余白が必要だと気づかされました。環境教育も同じく、一方的に伝えるのではなく、子ども自身が感じ考えるための土壌をつくれるかが鍵になるのだと学びました。現場で生まれる小さな変化を、大切に拾える大人でありたいです。

小池涼子





入会・寄付のご案内

欲しい未来へ、
寄付を贈ろう。



寄付月間（Giving December）は、毎年12月の1か月間「欲しい未来へ、寄付を贈ろう。」を合言葉に行われる寄付啓発キャンペーンです。JEEFはこの理念に賛同し、パートナーとして参加しています。

誰ひとり取り残さない環境教育を 提供するために

会費や寄付の活用によって、身体的・経済的・地域的な理由などで、これまでJEEFのプログラムに参加する機会のなかった方々との出会いの場を増やしています。

会員になる

JEEF会員として、ぜひ継続的なご支援をお願いいたします。
いつしょに小さな一步を踏み出し、大きな変化を生みましょう！

- 普通会員 年会費 6,000円
- 学生会員 年会費 3,000円
- 団体普通会員 年会費 20,000円
 入会金 10,000円
- 賛助会員 年会費 一口 100,000円

<https://www.jeef.or.jp/joinus/>



会員特典

- ★ 機関誌「地球のこども」(年2回)
- ★ 活動報告書(年1回)
- ★ 会員限定メルマガ(月1回)
- ★ イベントへの参加ご優待(割引など)
- ★ メルマガ「身近メール」への情報掲載(月1回)

※賛助会員はJEEFウェブサイトにロゴを掲載いたします。



寄付をする

<https://www.jeef.or.jp/joinus/#tab02>



寄付でご支援くださった方には、JEEFオリジナルグッズと、
1年間の活動をまとめた「活動報告書」をお送りします。

● マンスリー寄付

毎月、任意の金額でJEEFを継続的に支援。

● 任意の金額を1回寄付

お好きなタイミングで、任意の金額で支援。

他、下記の金額の一部がJEEFに
寄付・ポイント付与されます。

ぜひご検討ください。

- ・モンベルサポートカードでの買い物
- ・エシカルパソコンの購入
- ・電力会社の切替(ハチドリ電力)

寄付についてのご相談は、お気軽に担当まで
ご連絡ください。

寄付担当 垂水、中野

TEL: 03-5834-2897 E-mail: kifu@jeef.or.jp



website <https://www.jeef.or.jp/>
facebook [NGO.JEEF](#)

X (Twitter) [@NGO_JEEF](#)
Instagram [ngo_jeef](#)

『地球のこども』2025年冬号(通巻226号)2025年12月1日発行 公益社団法人 日本環境教育フォーラム
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階 TEL: 03-5834-2897 FAX: 03-5834-2898 E-mail: book@jeef.or.jp
発行人: 阿部治 企画 / 編集:『地球のこども』編集チーム © Japan Environmental Education Forum Printed in Japan 價格: 1,200円(税込)



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
www.fsc.org
FSC® C004858